【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年9月15日(2022.9.15)

【公開番号】特開2021-51493(P2021-51493A)
【公開日】令和3年4月1日(2021.4.1)
【年通号数】公開・登録公報2021-016
【出願番号】特願2019-173461(P2019-173461)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｔ　7/00(2017.01)*
*Ａ４５Ｄ 44/00(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　7/00　６６０Ａ
Ａ４５Ｄ 44/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月7日(2022.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像された画像に含まれる対象物の複数の特徴点を検出し、
撮像されたタイミングがそれぞれ異なる複数の画像に対して、美容施術に伴う前記対象物の部分的な変形により変化する前記複数の特徴点間の距離情報をそれぞれ取得し、
取得された前記距離情報同士の差分値に基づいて、前記美容施術が適切に実行されているか否か、又は、実行されたか否かを判定する、処理部を備える画像処理装置。
【請求項２】
前記処理部は、
判定された結果に基づいて、前記美容施術をスコア化した評価結果を生成する、請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記評価結果の履歴を記憶する記憶部を更に備え、
前記処理部は、
前記記憶部に記憶された前記履歴を表示部に出力する、請求項２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記処理部は、
前記美容施術が一定以上評価された日の連続日数が、予め設定された目標日数以上となった場合に、前記連続日数が前記目標日数以上となったことを表示部に出力する、請求項２に記載の画像処理装置。
【請求項５】
コンピュータが行う画像処理方法であって、
撮像された画像に含まれる対象物の複数の特徴点を検出し、
撮像されたタイミングがそれぞれ異なる複数の画像に対して、美容施術に伴う前記対象物の部分的な変形により変化する前記複数の特徴点間の距離情報をそれぞれ取得し、
取得された前記距離情報同士の差分値に基づいて、前記美容施術が適切に実行されているか否か、又は、実行されたか否かを判定する、画像処理方法。
【請求項６】

判定された結果に基づいて、前記美容施術をスコア化した評価結果を生成する、請求項５に記載の画像処理方法。
【請求項７】
前記評価結果の履歴を記憶する記憶部に記憶された前記履歴を表示部に出力する、請求項６に記載の画像処理装置。
【請求項８】
前記美容施術が一定以上評価された日の連続日数が、予め設定された目標日数以上となった場合に、前記連続日数が前記目標日数以上となったことを表示部に出力する、請求項６に記載の画像処理装置。
【請求項９】
コンピュータに
撮像された画像に含まれる対象物の複数の特徴点を検出する処理、
撮像されたタイミングがそれぞれ異なる複数の画像に対して、美容施術に伴う前記対象物の部分的な変形により変化する前記複数の特徴点間の距離情報をそれぞれ取得する処理、
取得された前記距離情報同士の差分値に基づいて、前記美容施術が適切に実行されているか否か、又は、実行されたか否かを判定する処理、を実現させるプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記目的を達成するため、本発明の一態様の画像処理装置は、撮像された画像に含まれる対象物の複数の特徴点を検出し、撮像されたタイミングがそれぞれ異なる複数の画像に対して、美容施術に伴う前記対象物の部分的な変形により変化する前記複数の特徴点間の距離情報をそれぞれ取得し、取得された前記距離情報同士の差分値に基づいて、前記美容施術が適切に実行されているか否か、又は、実行されたか否かを判定する、処理部を備えることを特徴とする。